

「(仮称) 宮城加美風力発電事業 環境影響評価方法書」に対する 10 月 20 日技術審査会の指摘事項と事業者回答

項目	審査会当日意見 (※P は方法書のページ番号)	文書意見	事業者回答 (※P は添付資料ページ番号)
全般的事項	<p>① 事業実施区域の近傍には、県内の観光地として風光明媚で有名な薬菜山が位置している。本事業地を風力発電の適地として選定した理由について環境保全の観点から記載するとともに、可能な限り景観等への影響がない配置計画を検討すること。 【平野委員】</p> <p>② 現在の配置計画では、周辺の集落からは多くの風車が並んで見えることになるため、地域住民への聞き取り等も行い、景観としての圧迫感がないよう配置計画を検討すること。 【岩谷委員】 P244-248</p>		<p>風力発電の適地として選定した理由につきましては、好風況が見込まれ、送電線の空き容量が確保できる場所、まとまった事業用地を取得できる可能性、既存の道路がある程度整備され、工事や資材の搬入がしやすい場所、近隣の集落からある程度離れている場所等の条件を基に設定しております。環境保全の観点から、送電網や既存道路が整備された場で事業を実施することで、新たな土地の改変等の影響を極力回避・低減でき、また集落からある程度離隔をとることで、生活環境にも配慮できると考えております。</p> <p>景観資源である薬菜山を眺望する地点を主要な眺望景観の予測地点として選定し、影響の程度に応じて配置等を検討してまいります。</p> <p>景観につきましては、明確な評価指標が存在しないため、関係自治体や地域住民のご意見も踏まえながら、適切な措置を検討してまいります。</p>
騒音	<p>③ 風車の音はアノイアンスに繋がる可能性が高いことから、配置計画に当たっては、地域住民への影響に十分に配慮すること。 【岩谷委員】 P198-205</p>		<p>アノイアンスに繋がる諸元等の条件も含め、今後、準備書の段階で近隣集落を対象に予測評価を行い、その結果を踏まえ、状況に応じて適切な環境保全措置を検討いたします。</p>
地形・地質	<p>④ 事業実施区域の西側は漆沢ダムの集水域であるため、地形改変による土砂流出の影響等を考慮し、対策を検討すること。 【伊藤委員】 P213,275</p> <p>⑤ 土台コンクリートの打ち込みや地盤改良のための薬液の注入等がある場合は、土壌や地下水へ有害物質が流出することがないように対策を検討すること。 【山本会長】</p>		<p>造成にあたっては、造成箇所は速やかに転圧するとともに、適切な場所にしがら柵等を設置する等、土砂の流出防止に努めます。また、大きな造成区域には仮設沈砂池を設置し、土粒子を十分に沈殿させる等、漆沢ダムの集水域に十分配慮してまいります。</p> <p>土台コンクリートの打ち込み、また地盤改良のための薬液の注入が必要となった場合には、有害物質の流出に配慮した工法や適切な措置を検討いたします。</p>
動物	<p>⑥ 小鳥の空間飛翔密度を調査する上では、例えば、100m×500mの带状区内において風車が回転する高度を飛ぶ鳥の個体を計数する等、適切な調査方法を検討すること。 【由井委員】 P221</p>		<p>ご指摘を踏まえ、適切な調査手法、調査結果の整理について検討いたします。</p>

項目	審査会当日意見 (※P は方法書のページ番号)	文書意見	事業者回答 (※P は添付資料ページ番号)
	⑦ 渡り鳥は月日によって飛来数が大きく異なるため、調査に当たっては季節毎に7日～10日おきに天候の良い日に行うのが望ましい。 【由井委員】 P221		地元の専門家ヒアリングの情報等を参考に、春季及び秋季の渡りのピークを含む1～1.5ヶ月の期間に、天候の状況を踏まえながら、3日間×3回の調査を実施する予定です。
	⑧ 小鳥類の飛翔個体数は、早朝や昼間等の時間帯による変動が大きいため、適切な調査方法を検討すること。 【由井委員】 P221		ご指摘の点に留意し、調査を実施してまいります。
	⑨ コウモリ及び小鳥の夜間調査は羽音や鳴き声のだけでは正確な把握ができないため、LEDライト等で空間を照らして計測する等、適切な調査方法を設定すること。 【由井委員】 P221		コウモリ類につきましては、バットディテクターを持って踏査ルートを歩くことにより、把握していく考えです。小鳥の夜間調査はご指摘を踏まえ、LEDライト等を補完的に使用することを検討いたします。
	⑩ 両生類や昆虫類の調査に当たっては雪解けの時期による年変動を考慮し、適切な調査時期を設定すること。 【太田委員】 P217-234		ご指摘の点に留意し、雪解けの時期に確認しながら、適切なタイミングで調査を実施してまいります。
	⑪ 現地に生息する可能性があるキタオウシュウサンショウウオは、渓流性であるため、本種の調査に当たっては魚類と同様の調査方法を設定すること。 【太田委員】 P222		ご指摘の種につきましては、魚類と同様の調査手法により、調査を実施してまいります。
	⑫ 工事着手前における轢死の状況を把握した上で、工事用車両による小動物の轢死の影響を調査・予測及び評価すること。 【太田委員】		轢死の状況を定量的に把握し、工事用車両等による影響を予測・評価することは困難であるため、轢死による影響につきましては、工事用車両等が通る時間帯への配慮や、車両の走行速度の規制等の環境保全措置を講じることにより、影響の低減に努める考えです。
植物	⑬ 事業実施区域近傍には希少な植物群落が存在することから、土地の改変によってどのような影響があるかについて、群落の成立要件も考慮した上で、調査されたい。 【牧委員】 P235-238		希少な植物群落については、現地調査において成立要件も踏まえて把握し、その環境も含めて土地の改変に伴う影響について予測及び評価を行います。
景観	⑭ 主要な眺望点だけではなく、写真写りの良い薬菜山の撮影点も考慮して、調査地点を設定すること。 【平野委員】 P244-248		方法書に記載の主要な眺望点につきましては、加美町のご意見も踏まえ、薬菜山を良く眺望できる場を考慮して設定しておりますが、この他に考慮すべき地点がありましたら、ご指摘をいただき、検討させていただきたく存じます。

項目	審査会当日意見 (※Pは方法書のページ番号)	文書意見	事業者回答 (※Pは添付資料ページ番号)
	⑮ 風車の稼働による誘目性を適切に把握するため、 フォトモンタージュに加えて、動画も作成して いただきたい。 【平野委員】 P244-248		ご指摘を踏まえ、参考資料として、審査会の場 でお示しすることを検討させていただきます。
温室効果ガス	⑯ 森林伐採や土地の改変および工事や稼働等 による温室効果ガスの放出量と再生可能エネ ルギーの導入による温室効果ガスの削減量に ついて、合計での収支を把握すること。 【山本会長】		準備書段階において、適切に把握・記載いた します。